

令和4年度 第1回大東市産業振興市民会議（報告）

1. 日時・場所 令和4年7月14日（木）午前9時30分～11時30分

市民会館204会議室

2. 出欠（敬称略）

【出席】

大阪産業大学 社会連携・研究推進センター長 工学部電子情報通信工学科 教授	草場 光博
(株)山田製作所 代表取締役	山田 茂
明星シンセティック(株) 代表取締役	上田 隆章
新大阪食品産業(株) 代表取締役	北尻 正太
NPO法人住まいみまもりたい 理事長	吉村 悦子
NPO法人大東夢づくりコミュニティ 代表理事	中村 朋子
小金屋食品(株) 代表取締役	吉田 恵美子
アッセンブル産業(株) 代表取締役	竹原 清司
大東商工会議所 常議員 (株)ウチダ 代表取締役	内田 祥嗣
近畿経済産業局 総務企画部 中小企業政策調査課長	濱崎 浩

市 産業・文化部長 北田 哲也

事務局 産業経済室 中村総括次長・松本課長補佐・林上席主査・岡崎（文責）

【欠席】

大阪公立大学 商学部 教授	本多 哲夫
大東市商業連合会 会長 JILLS	角谷 昌寛

3. 委嘱状交付

部長より委嘱状交付。欠席委員には後日送付。

4. 部長あいさつ

新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での開催は約2年半ぶりとなる。この間、企業を取り巻く環境は一変しており、本市の産業がさらなる発展を遂げるためには、この変化への対応が否応なく迫られている。本市としては、変化に対応し、市内企業の競争力の維持・強化を図るべく、市内企業のICT化、生産性向上を支援する市内企業DX推進事業を実施している。市内中小企業のウィズコロナ、アフターコロナを見据えた取組に対する支援施策を実施していく。

本会議では、現在「10年後の大東市の産業振興について基本指針の策定」について議論して頂いている。今年度も委員の皆様のご活発なご意見等を頂戴し、本市施策や行政運営の参考にさせて頂く。

5. 委員自己紹介・事務局紹介

対面での開催は約2年半ぶりとなるため、自己紹介と挨拶を各委員から行った。

6. 議案

(1) 会長、副会長専任

山田委員が会長として推薦され全員承認。会長が吉村委員を副会長に指名。

(2) 大東市産業振興市民会議概要説明

事務局より資料1～資料9について説明。

(3) 今年度の主な事業

事務局より資料10について説明。

(4) 施策検討

➤最初に（会長より発言）

・我々の経営は絶対に自助努力が必要だが、一社ではいくら努力しても解決しない部分がある。そこで意見交換を皆で行うのが本会議。

➤コロナ禍を受けての変化を各委員から報告

- ・現場の意見を尊重していく必要性を感じた。
- ・30～60代の子育て世代の母親や子育てが落ち着いた母親が、地域と関わりたい、つながりたいと考えていることを感じたため、居場所とやりがい、地域とのかかわり、少しの収入を提供できないか、有償ボランティアを少し応用したようなことが行えないか考えている。
- ・地域の課題を解決することが新たな仕事をつくる
- ・自殺者が増えた。66歳以上の方は地域に入れられないということが大きな課題であるとわかった。
- ・大東市ならではの企業と市民をつなぐ地域のプラットフォームが必要。
- ・若い方の人材確保がコロナ前からの課題。
- ・中小企業は大企業が人材採用を減らしている時がチャンス。しかし高校生や地域の人を採用できていないのが現状。
- ・キッズファクトリーは、小さな物を扱う企業にとっては良いが、大きな物を扱う会社はオープンファクトリーのほうがマッチしている。
- ・てくてくマルシェは、子どもたちが喜ぶイベントにしようと企画したところ、ファミリー層を中心に850人が御領に来てくれた。御領のPRにつながるため、企業紹介の動画を流すなど、来年は御領の企業や御領のまちを知ってもらえる企画を行いたい。
- ・人材確保が難しいのが現状。コロナ禍の影響で海外から部品が入ってこず、製品がつかれない。下請け企業は材料の高騰を価格転嫁することが難しい。そのため、人は雇いたい、仕事がないために雇用しても休んでもらうこととなり、そのバランスが難しい。
- ・人材確保については大東市が行っている奨学金の補助を武器にしたい。
- ・ビジネスのあり方がリアルからWEBに変わった。
- ・10年先のビジョンを考えるのであればメタバースも視野に入れなければならない。
- ・雇用面については、Z世代はX世代と考え方が異なる。X世代は儲かればよいが、Z世代は社会との関わりがあるか、社会貢献しているかに関心を持っており、そのような企業で働きたいと考えている。

- ・2025年の関西万博は良い機会。外国人が多く来るため大東市にいかに取り込むのかを考えてほしい。
- ・学生からSDGsの取組は行っているかと質問されるし、HPにSDGsの取組を掲載していないと検索ワードに引っ掛からない。
- ・万博は何らかの方法で絡んでいきたい。
- ・7月20日は中小企業の日。7月は中小企業の魅力発信月間。国が背中を押してくれているのでそのようなものを感じながら進めていきたい。
- ・大学は地域に参加していく大学でないと存在価値がない。
- ・学生は、かつては大企業重視だったが、最近は自分のやりたいことを重視している感じがする。

7. 次回開催について

8月30日（火） 13時30分～15時30分